

近畿分科会事務局提案事業

2021年度 分科会事業

障害当事者が船旅を体験することにより、
移動時のバリアの実態を確認するとともに、
事業者との意見交換をすることにより、
非日常的な空間である**船旅をより楽しめる方法を学ぶ。**

(評議会議九州分科会、別府港UDターミナル推進協議会 協働事業)



これらを目的に、神戸港 → 大分港 → 別府港 → 大分空港 → 伊丹空港
ツアーを実施。神戸港やフェリー船内のバリアフリーの状況を体感するとともに、九州
分科会や別府港UDターミナル推進協議会との意見交換会などを実施

2023年度 分科会事業(案)



●新造船の運航開始●

2023年1月より、当時の意見交換会でも照会された新造船の運航が開始された。(写真はHPより)



●新ターミナルのOPEN●

上記協議会が「提言書」を提出するなど整備に関わってきたターミナルの供用開始。(写真はHPより)

これらを踏まえ...

- ・新造船のバリアフリーの状況の確認
 - ・新ターミナルのBF設備等の見学
 - ・九州分科会・UDターミナル推進協議会との意見交換
- を再度実施することとしたい

フェリー乗船体験と意見交換会

2023年度 事業案(案)

出発: 大阪南港

新造船(さんふらわあくれない・むらさき)は大阪～別府 航路に投入

大阪南港 バリアフリー化の状況確認

乗船後、船内のバリアフリー化状況の確認

船内において障害当事者が参加した避難訓練

意見交換会の実施



着地: 別府港

別府港新ターミナル設備 バリアフリー点検



九州分科会・UDターミナル推進協議会 意見交換



その他 別府市内観光施設にてバリアフリー状況の体感

(この間移動はリフト付きバスを利用～小倉駅)

帰路: 小倉～新神戸・新大阪・京都 新幹線で移動 等検討中

● 目的 ●

当事者が船旅の良さを体感するとともに、一層のバリアフリー化へ向け対話する。また、健常者が障害当事者とともに移動することで、当事者のお困り事を知る。

● 実施時期 ●

台風シーズンを避け、気候等を勘案し、11月中旬を想定





Up

さんふらわあターミナル(別府)
フェリーターミナルのユニバーサルデザイン



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

共生社会の実現に向けて

障害当事者参画によるバリアフリー施設整備のプロセス

■共生社会実現に向けたレガシーの継承－旅客船ターミナルのバリアフリー化モデル事業－

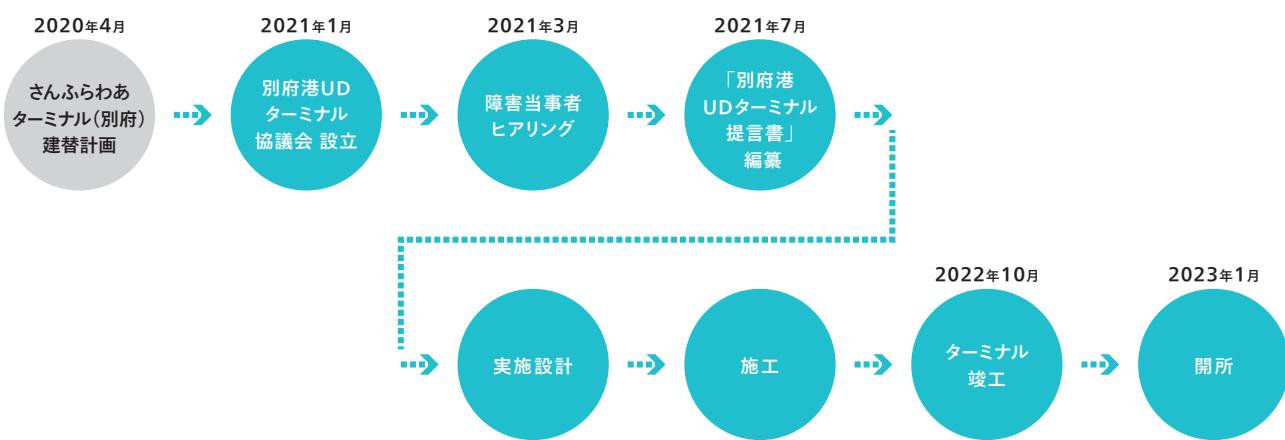
2020年パラリンピック東京大会を契機とした「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインの街づくり」に取組む「共生社会ホストタウン」の拡大など、地域における共生社会実現に向けた機運の醸成をパラリンピック後もレガシーとして継続することが求められています。

そのため、交通エコロジー・モビリティ財団では、日本財団の支援による「共生社会実現に向けた移動円滑化基金」を活用して港湾施設におけるバリアフリー化支援を行い、障害当事者の意見や最先端のバリアフリーを取り入れることで誰もが使いやすいターミナル施設とスムーズな乗船の実現を目指に、本事業を実施しました。

■さんふらわあターミナル(別府)の整備経緯

本事業の実施に際して、当財団は2021年1月に「別府港UDターミナル推進協議会」を設置しました。実施主体の株式会社フェリーさんふらわあ、別府市内の特定非営利法人自立支援センターおおいた、別府・大分バリアフリーターサンセンターを構成員とし、さらにオブザーバーとして国土交通省九州運輸局、大分県、別府市の関係各課の協力を得て計画の段階から障害当事者へのヒアリング等を行い、旅客船ターミナルにおける移動円滑化の課題とそれを解決するための施設整備について協議を進めました。

2021年7月に、それらの検討経緯を「別府港UDターミナル提言書」に取りまとめ、実施設計・施工に反映し、2023年1月にさんふらわあターミナル(別府)の開所を迎えました。



さんふらわあターミナル(別府)の開業によせて

今回、障害当事者委員として参加させていただきました。「世界に誇れる」を目標に掲げ、当事者ヒアリングを重点的に実施しました。どのような工夫で実現できるか協議を重ね、最終的に要望を全面的に受け入れた形での完成となりました。

今後、このターミナルが公共施設建設をはじめ様々な建築物のロールモデルターミナルになることを願っています。

尚、障害がある方で、別府をはじめ大分県への観光、旅行の際は、別府・大分バリアフリーターサンセンターがサポートさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

特定非営利法人自立支援センターおおいた
理事長 後藤 秀和

別府・大分バリアフリーターサンセンター
代表 若杉 竜也

別府・大分
バリアフリ
ーターサンセンター



さんふらわあターミナル(別府)のご紹介 (外観／駐車場～アプローチ)

利用用途にあわせた屋根付きの バリアフリー駐車スペースを設置

駐車場にはバリアフリー駐車スペースを2ヶ所整備しています。ターミナル最寄りには3台分の駐車スペース、送迎エリアには駐車・出庫がしやすい2台分のスルー型駐車スペースを設けています。また、バス停やタクシー乗降場からターミナルのエントランスまで屋根が整備されています。



① バリアフリー駐車スペース (1) (3台分)

ターミナルの最寄りに屋根付きのバリアフリー駐車スペースを整備しています(左右と、車両後方からの安全な乗降にも配慮したスペースを確保)。

1 **2** は「大分あったか・はーと駐車場※」と連携、
3 は車椅子利用者専用駐車場としています。



※大分県が取り組んでいる駐車場利用制度

② バリアフリー駐車スペース (2) (2台分)

送迎エリアに屋根付きのバリアフリー駐車スペースを整備しています(左右と、車両後方からの安全な乗降にも配慮したスペースを確保)。また送迎時、スムーズな利用ができるようにスルー型(入庫時の向きのまま出庫できる／後退の必要がない)を採用しています。

4 **5** は「大分あったか・はーと駐車場」と連携しています。



すべてのお客様に安全・快適にご利用いただくため、
バリアフリーに対応した新造船新ターミナルを
整備しました。日本初のLNG燃料フェリーへの
ご乗船をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

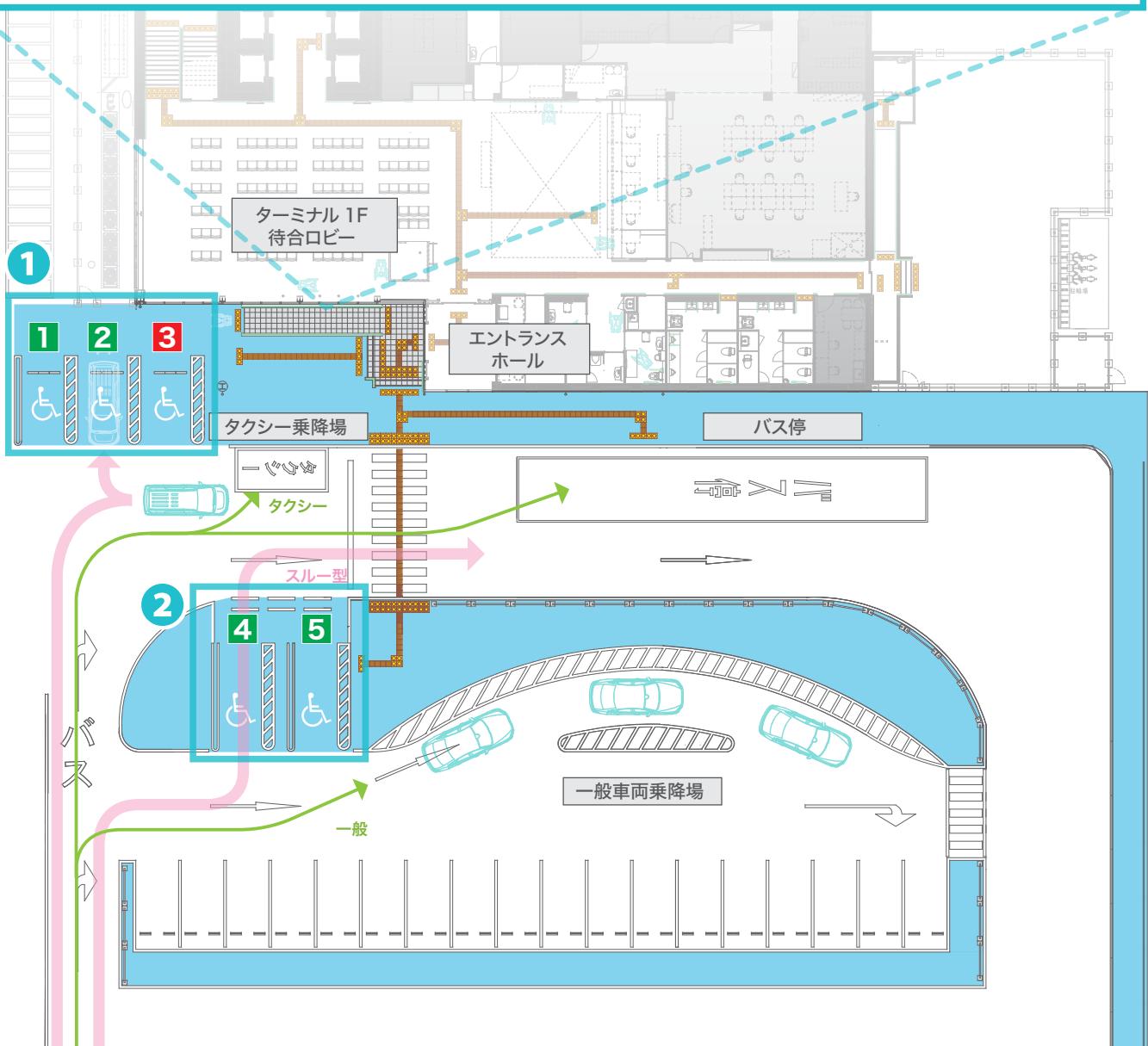
株式会社フェリーさんふらわあ

③ 歩道～アプローチ

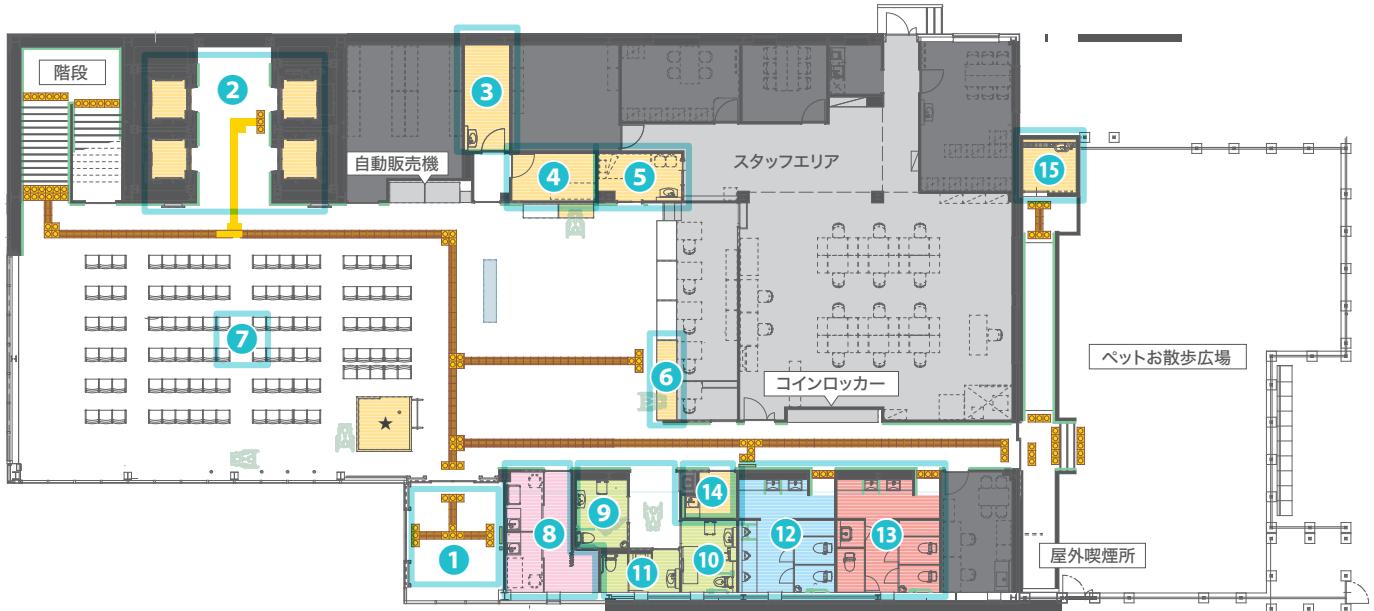
車道と歩道の違いを分かりやすい塗り分けで表しています。また、駐車スペースからエントランスまで、バス停からエントランスまで、連続的に点字ブロック(横断歩道部分はエスコートゾーンの整備)を敷設しています。



さらに、車椅子使用のお客様、ベビーカー利用のお客様のためのスロープを整備しています。



さんふらわあターミナル(別府)のご紹介 (ターミナル1F)



ターミナル内の点字ブロックで示される動線は(誘導対象施設を)シンプルで分かりやすいように配置

文字にピクトグラムを併記した
サイン、触知案内図、音声ガイド
による分かりやすい情報提供を
実施



① エントランスホール

全館の案内図(触知案内図)と人的支援(サポート)を求めるお客様のため、インターホンを整備しています。



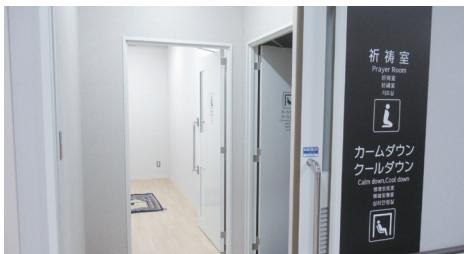
② エレベーター

輸送力を確保するため、4基のエレベーター(うち1基はストレッチャー対応)を整備しています。かご内は、音声案内、低い位置の操作盤、浮き出し文字のボタン、点字表示、手すりなどバリアフリー化しております。



③ 祈祷室

宗教多様性に対応するため、個室形式の祈祷室を整備しています。



国内の旅客船ターミナル初の カームダウン・クールダウルームを設置

④ カームダウン・ クールダウルーム

気持ちを落ち着かせたいお客様のため、カームダウン・クールダウルームの個室を整備しています。



⑤ 救護室

体調の悪くなつたお客様のため、スタッフエリアに近い場所に救護室を整備しています。



⑥ 発券カウンター

視覚に障害のあるお客様のため、点字ブロックで誘導したカウンターと車椅子使用のお客様が利用しやすいローカウンターの2ヶ所の発券カウンターを整備しています。



⑦ 乗客待合室

すべてのお客様が快適で、安心して待合時間を過ごすことができる空間を整備しています。発券カウンターの近い場所には優先席を配置し、他のお客様が気になる方には、パーテーションで区切られた座席を設置しています。また、スマホの充電スタンドも整備しています。



各々の利用ニーズに合わせた バリアフリートイレ(車椅子用トイレ、多機能)・男女共用トイレを設置

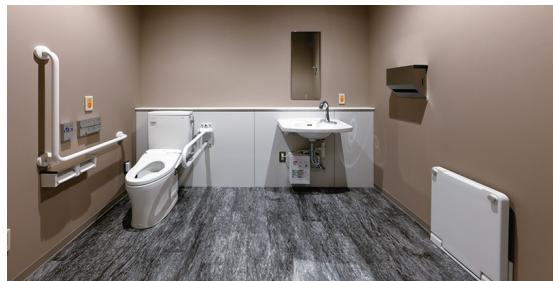


入口の配慮ポイント

- 入口に案内図(設備配置図)を設置
- 車椅子が転回しやすいスペースを確保
- 多言語(日英中韓)で表示
- 設備内容をピクトグラムで表示



⑨ バリアフリートイレ (車椅子用トイレ)の設備



- 手すり(L字固定式・跳ね上げ式)
- フィッティングボード
- フック(高い位置、低い位置)
- ベビーチェア
- 便座に対して右からのアプローチがしやすい

⑩ バリアフリートイレ (多機能)の設備



- 手すり
(L字固定式・跳ね上げ式)
- オストメイト対応設備
- 多目的ベッド
- フック(高い位置、低い位置)
- 便座に対して左からのアプローチ
がしやすい

⑪ 男女共用トイレの 設備

- 小便器
- 洋便器ブース(手すり付)



⑫ 男子トイレ

⑬ 女子トイレの設備

- ベビーチェア
- 手洗器付近にオムツ替え
ベッドを設置



⑮ 補助犬用トイレ

補助犬を利用している
お客様のため、シャワー
付き水栓・防臭機能付き
ゴミ箱を整備しています。

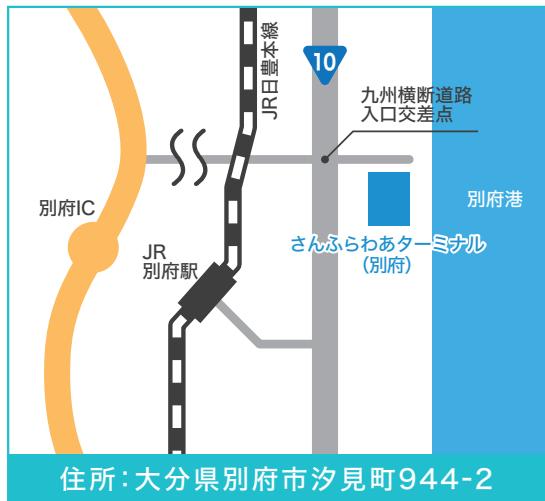


⑯ 水飲み/医療電源室

医療的ケアを必要とするお客様
が使用できる電源、服薬を必要と
するお客様が使用できる水飲み器
を備えた個室を整備しています。
なお、コンセントは高い位置にも
低い位置にも設置しています。



アクセス



- JR別府駅からバスで約15分「さんふらわあターミナル(別府)」下車
- JR別府駅からタクシーで約10分

施設概要

| | |
|------|------------------------|
| 構造 | 鉄骨造 地上2階建 |
| 敷地面積 | 3,763.20m ² |
| 延べ面積 | 1,105.65m ² |

事業主：株式会社フェリーさんふらわあ
設計事務所：東九州設計工務株式会社
施工会社：株式会社菅組

2023(令和5)年 2月発行

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

〒112-0004

東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階

TEL:03-5844-6265/FAX:03-5844-6294

作業協力：株式会社TAP